

■コメント

1. 手足口病

定点当たり8.63人と引き続き増加しています。

手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられます。

広島市では、数年おきに比較的大きな流行がみられ(次頁参照)、今年は2011年以来の大きな流行となる可能性があり、注意が必要です。

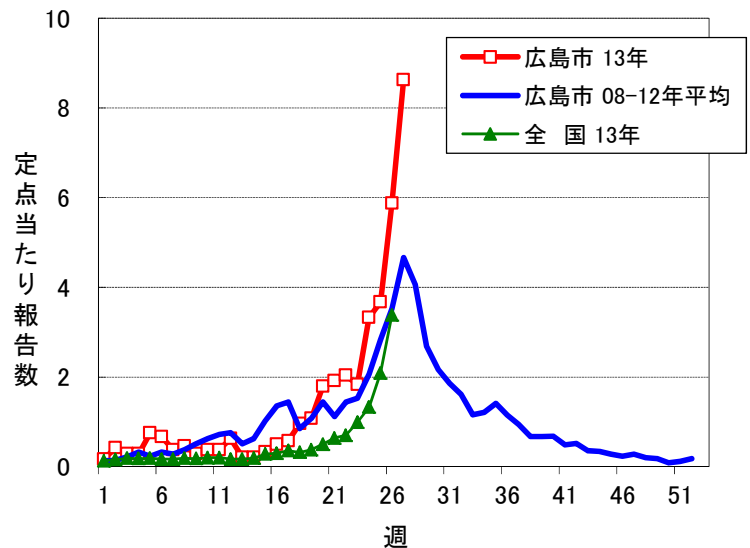
2. ヘルパンギーナ

定点当たり1.29人と、前週と比べ大きく増加しました。

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に、毎年夏季に流行するウイルス性の疾患で、発熱と口の中に水疱ができることが特徴です。

手足口病やヘルパンギーナは、回復して症状がなくなっても、1か月くらいは便などにウイルスが排泄されることがあるので、排泄物の適切な処理を心がける必要があります。

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.03		ヘルパンギーナ	31	1.29	2.58	↑
咽頭結膜熱	37	1.54	0.51	⇒	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.82	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.25	1.22	⇒	RSウイルス感染症	2	0.08	0.01	
感染性胃腸炎	104	4.33	3.93	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	20	0.83	1.06	⇒	流行性角結膜炎	11	1.38	0.75	⇒
手足口病	207	8.63	4.66	⇒	細菌性髄膜炎	4	0.57	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.55		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	14	0.58	0.75		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.43	
百日咳	-	-	0.11		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	⇒	⇐	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	⇒	⇐	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇒		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	94	男性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(80歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	4	男性(50歳代)・B型

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	第23週	1	44	36	157	29	44	-	14	-	10	7	4	-	17	-	1	-	-
	第24週	-	57	37	152	32	80	1	9	-	12	13	2	-	19	-	1	1	-
	第25週	-	50	43	114	22	88	-	12	-	10	9	4	1	11	-	1	-	-
	第26週	-	39	19	103	16	141	1	19	1	12	2	4	2	17	-	-	-	-
	第27週	-	37	30	104	20	207	-	14	-	31	9	2	-	11	4	-	-	-
定点当 たり	第23週	0.03	1.83	1.50	6.54	1.21	1.83	-	0.58	-	0.42	0.29	0.17	-	2.13	-	0.14	-	-
	第24週	-	2.38	1.54	6.33	1.33	3.33	0.04	0.38	-	0.50	0.54	0.08	-	2.38	-	0.14	0.14	-
	第25週	-	2.08	1.79	4.75	0.92	3.67	-	0.50	-	0.42	0.38	0.17	0.13	1.38	-	0.14	-	-
	第26週	-	1.63	0.79	4.29	0.67	5.88	0.04	0.79	0.04	0.50	0.08	0.17	0.25	2.13	-	-	-	-
	第27週	-	1.54	1.25	4.33	0.83	8.63	-	0.58	-	1.29	0.38	0.08	-	1.38	0.57	-	-	-
全国	第25週	0.17	0.71	1.83	4.68	1.17	2.09	0.08	0.66	0.01	0.63	0.33	0.11	0.02	0.60	0.01	0.03	0.54	0.02
	第26週	0.13	0.65	1.78	4.31	1.02	3.38	0.08	0.67	0.01	1.25	0.29	0.14	0.03	0.59	0.02	0.05	0.52	0.03

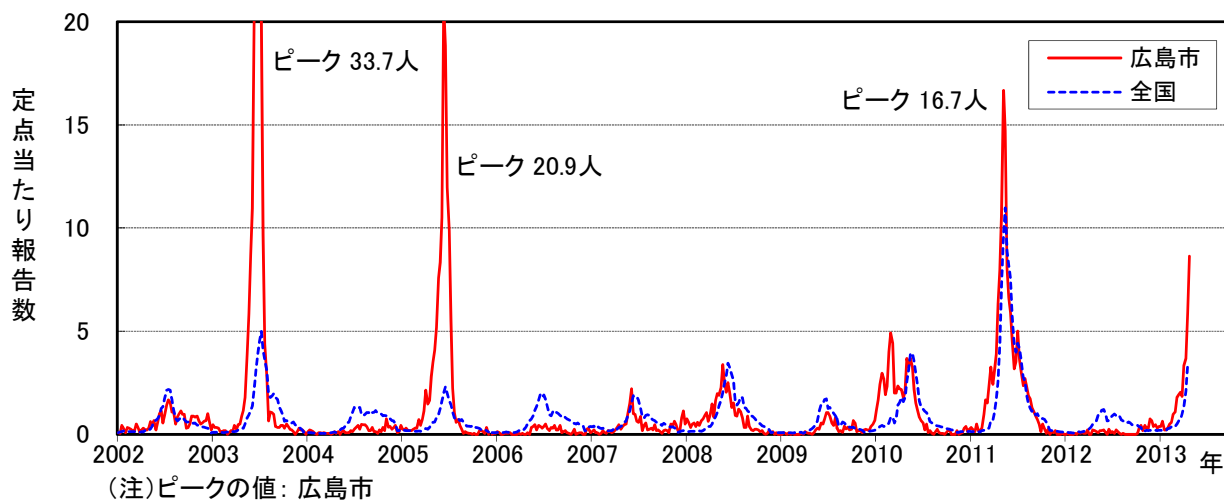
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱 肺炎	0	男	2013/05/29	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市と全国における手足口病の定点当たり報告数の推移



手足口病は、主に夏季にみられる疾患で、広島市では2003年、2005年、2011年に大きな流行となりました。2012年はほとんど流行がみられませんでした。今年も全国的にも報告数が増加傾向にあり、今後もさらに報告数が増加していくものと推察されます。

保育園・幼稚園等の乳幼児の集団生活の場では特に、手洗いの励行などの感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第27週(7月1日～7月7日)